

4月

「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをしよう!

食事のあいさつである「いただきます」「ごちそうさま」。

何気なく言っている言葉ですが、「いただきます」「ごちそうさま」の意味について考えてみませんか?

いただきます



いただきますは、ただ「食べましょう」というあいさつではありません。

わたしたちが食べているものには、すべて植物や動物の「命」がありました。

命をもらうことへの「ありがとう、大事に食べます。」という感しゃのあいさつです。

ごちそうさま

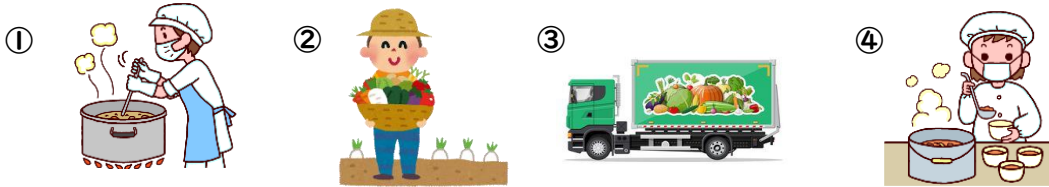


「ごちそう」の“馳走”は、「走り回って用意する」という意味です。昔は、お客さんをおもてなしするために食べものをさがして、走り回っていました。

今でも食事が作られるまでには、たくさんの方がかわっています。すべての人に感しゃの気持ちをこめて、あいさつができたらすてきですね。

給食クイズ

給食がみなさんのもとにとどくまでに、どんな人の力がひつようでしょうか? あてはまる絵とせつめいを、点と点でおすびましょう。



- A 給食当番
- B やさいや肉を作る人
- C ちょうりをする人
- D やさいや肉を運ぶ人



世界の食事のあいさつ



外国では、食事の前にどんなあいさつをするのでしょうか?

アメリカ



Let's eat (レッツイート) 「食べましょう。」

フランス



Bon appétit (ボナペティ) 「めしあがれ。」

ドイツ



Guten Appetit! (グーテン アペティート) 「よい食事を!」

かん国



잘 먹겠습니다 (チャル モッケツスムニダ) りょうりを 作ってくれた人や ごちそう してくれたい人に 対して 「いただきます。」

外国では食事を始めるときに、「食べましょう」と言ったり、りょうりを作った人が「たくさん食べてね」と言ったりすることはあるそうです。しかし、日本の「いただきます」にぴったり当てはまる言葉はなかなかありません。生き物の命と食事を用意してくれた人への感しゃの気持ちがこもった「いただきます」という言葉を大切にしていきたいですね。



「いただきます」という習かんがない国でも、「食事は楽しい、うれしい、ありがたい」という気持ちはみんな同じです。だから、「いただきます」とは言わなくても、食事の時間はとても大切にしているそうです。

こたえ ①—C ②—B ③—D ④—A